

# 受 賞 者 紹 介

<技術改善部門>

山 本 勲

<農業・農村振興部門>

黒 柳 二三子

伊 藤 欣 夫

## 第6回あいちアグリアワード 受賞者の紹介

### 【技術改善部門】

山本 勲 氏 (69歳)  
(豊橋市)



山本勲氏は、全国でも屈指の観葉植物生産者として、ヒメアンスリウムの栽培方法の確立、スパティフィラムのリレー栽培、超多品目少量生産体制の構築などをはじめとする生産技術の改善による生産効率の向上を積極的に追及し、その知見や栽培方法を他の生産者に波及した。また、新商品、新品種の開発・普及にも積極的に取り組まれ「ミッキーマウスの木」や「ハンカチの木」等多くの話題性のある新商品を世に送り出し、園芸業界の活性化に貢献した。

氏は、長年にわたり豊橋温室園芸組合鉢物部会の役員を務め、地域の花き生産振興に尽力するとともに、愛知県花き温室園芸組合連合会の観葉鉢物部会長として組織の運営強化にリーダーシップを発揮した。

現在は、自ら働きかけ設立したNPO法人「観葉植物開発普及協会」の副会長として、観葉植物の消費拡大に向けて、多くの活動に取り組んでいる。また、豊橋市の「農の伝道士」として講演や、小学生を温室に招き、植物と触れ合う機会を提供するなど花育教育に尽力している。

このように、高い技術と献身的な人柄により、ブランドとなりうる観葉植物の生産技術の開発と普及、新品種の育成に尽力されたこと、そして地域農業の発展に貢献していることが高く評価された。

### (略 歴)

- |          |                             |
|----------|-----------------------------|
| 平成4年4月   | 豊橋温室園芸農業協同組合鉢物部会長 (3年間)     |
| 平成9年5月   | 愛知県花き温室園芸組合連合会観葉鉢物部会長 (3年間) |
| 平成18年10月 | 観葉植物開発普及協会副会長 (至現在)         |

### (表彰歴)

- |       |                       |
|-------|-----------------------|
| 平成5年  | 全国鉢物共進会関西大会 農林水産大臣賞受賞 |
| 平成6年  | 全国花き品評会 農林水産大臣賞受賞     |
| 平成20年 | 愛知県花き温室園芸組合連合会功労者表彰   |

## 【農業・農村振興部門】

黒柳 二三子 氏（66歳）  
（安城市）



黒柳二三子氏は、西三河地域特産のイチジク生産に携わり、平成14年には、女性で初めてJAあいち中央、西三河地域、そして愛知県のイチジク生産組織の会長を務め、本県におけるイチジク生産者のリーダーとして活躍した。会長在任中には、食の安全・安心を届けられる産地として、農薬の登録拡大、残留農薬の検査、トレーサビリティに率先して取り組み、産地体制の強化を図った。

また、氏は平成14年から安城市農業委員を務めており、現在4期目である。平成21年には農業委員会をまとめる要職である農業振興部会長を務め、水田作における難防除雑草や害虫防除に関するプロジェクトチームを立ち上げ、対策マニュアルの作成・効果の検証を実施し、地域農業の振興に貢献した。

そのほか、子供たちへの食農教育活動、農業後継者育成のための農業体験事業の実施、市街地活性化をめざした「まちなか産直市」の開催、食育推進ボランティアや食育キャラバン隊での活動など、食育活動と地産地消の推進にも成果を上げている。

このように、イチジク生産振興、地域農業の振興・食農教育活動等における氏の功績は大きく、今後の活躍も期待されることが高く評価された。

### （略 歴）

平成14年1月	JAあいち中央いちじく部会部会長（3年間） 西三河いちじく部会部会長（3年間） 愛知県果樹振興会いちじく部会長（3年間）
平成14年4月	愛知県いちじく協議会初代会長（3年間）
平成14年7月	安城市農業委員（至現在）

### （表彰歴）

平成18年	安城市農業賞
平成20年	愛知県男女共同参画推進活動者表彰

## 【農業・農村振興部門】

伊藤 欣夫 氏（66歳）  
（田原市）



伊藤欣夫氏は、農協合併に尽力され、全国一の農産物販売金額をあげる「愛知みなみ農業協同組合」の発足や生産部会の再編・統合等に貢献した。平成17年6月～23年6月の間、当農協の代表理事組合長を務め、「あぐりパーク食彩村」の開設、平成21年の台風18号での農業被害の復興、原油価格高騰対策への速やかな対応等を実施し、強力な指導力を発揮して地域農業の振興に貢献した。

また、氏は平成19年5月より、愛知県花き温室園芸組合連合会の会長に就任し、花を持って街に出る「フラワーウォーク」の取組の提案や花育教室の開催、花に込めたメッセージの募集など、日常生活に花を取り入れてもらうための取組を開始し、花きの消費拡大について卓越した独創性と実行力を発揮した。県育成品種の普及や原油高騰対策に伴う経営改善、花き連50周年記念大会の開催にも積極的に取り組み、本県花きの振興に大きく貢献している。

このように、氏は愛知県の花き振興や地域農業の振興に多大な功績があり、今後の活躍も期待されることが高く評価された。

### （略 歴）

昭和38年4月	就農
平成11年6月	愛知渥美町農業協同組合常務理事（3年間）
平成14年6月	愛知みなみ農業協同組合代表理事専務（3年間）
平成17年6月	愛知みなみ農業協同組合代表理事組合長（6年間）
平成19年5月	愛知県花き温室園芸組合連合会会長（至現在）

### （表彰歴）

なし